



熊谷人事課総括課長との着任交渉に臨む本部交渉団

基本姿勢について述べる熊谷総括課長(右から2人目)

岩手県職労

課題の解決へ基本姿勢確認

熊谷人事課総括課長と着任交渉

県職労は4月25日、熊谷人事課総括課長と着任交渉を実施し、山積する課題の確認と改善への基本姿勢を確認するとともに、職場の欠員解消や諸手当改善等を求めた。

交渉で熊谷総括課長は、新年度の人員体制について、年度当初の欠員が90人(短時間勤務再任用・未着任の他県等応援を除くと72人)にのぼることを回答。本格復興推進を掲げる達増知事の言葉とは逆に、職場

体制に不備があることが判明した。県職労は、入札件数等の増加で事務職も不足している実態等を指摘し、来年度の募集増員や可能な限りの前倒し採用を約束させた。また、消費増税に伴い一層の自己負担を強いられる

いる実態を追及し諸手当改善を求めたのに対しては「課題認識を持っている。引き続き人事委員会と協議を続ける」との回答に止まった。一方、今年で採用3年目を迎える任期付職員の処遇については「本人の意向を確認の上、原則2年間の任期更新を考えている」との前進回答を引き出した。

県職労は、安心して復興を推進できる職場と労働条件改善に向け、引き続き、当局交渉を強化していく。

題85回 格差の是正と恒久平和を

メーデー

「労働者保護ルール改悪反対」の特別決議を採択

県中央集會に3000人が結集



「デコレーション」の部で受賞しあいさつをする中川青婦部長(左が「ちゃんあげっち」、右が「ゆとりっち」)



プラカードを手に市内をデモ行進する県職労の参加者

5月1日に各地で開催されたメーデーに多くの組合員が参加し、盛岡城跡公園で開催された県中央集會にも県庁・盛岡支部の組合員

が参加した。集會では、安倍内閣による、働く者を犠牲にした社会の不条理に對峙し、労働者が団結していく決意を固めあつた。

また、県庁・盛岡支部の青年婦人部を中心に作成してエントリーしたデコレーション審査では見事、最優秀賞を受賞した。

戦争させない! 県民総決起集会

とき 5月31日(土) 午後1時~
ところ 盛岡市「岩手教育会館大ホール」

基調講演

「さらば独裁者 徹底検証 暴走する安倍政権」
講師：佐高 信さん(評論家)

※花巻地区集會も31日・午後4時から開催(なはんプラザ1階COMSホール)

「給与の総合的見直し」には反対

地公共闘 人事委員長あて要請書提出

岩手県地方公務員共闘会

議(議長・砂金良明岩教組委員長)は4月30日、佐藤人事委員事務局長に對し、賃金水準の改善、諸手

当改善、給与制度の総合的見直し反対など、13項目にわたる要請書を提出した。佐藤事務局長は、「5月から民間給与実態調査を開始する」とした上で、諸手当改善については、「震災復興もあり、長距離通勤や家賃高騰など、他県と違う実情があることは理解する」との考えを示したが、具体的な改善については「調査結果を見ながら検討する」との見解に止まった。



佐藤人事委員事務局長に要請を手渡す砂金地公共闘議長(左)

第五世代

4月26日にNPO法人障がい者雇用支援ネットワークが主催する映画「標的の村」の上映会が行われた。映画は、沖繩県国頭郡東村の高江地区の住民による「オスブレイ」着陸帯建設反対運動を追ったドキュメンタリー。豊かなやんばるの森の上空をわがもの顔で飛び回る米軍ヘリに、住民は、自分たちは「標的」なのかと憤る。▼オスブレイの普天間基地強硬配備の前夜である2012年9月29日、反対する人々は22時間にわたって基地ゲートを完全封鎖した。強制排除に乗り出した警察との激しい衝突、駆け付けたジャーナリストさえもが排除されていく。排除される側も排除される側も同じ沖繩県民。▼反対運動に奮闘する親の姿を見てきた11才の少女の「お父さんとお母さんが頑張れなくなったら、私が引き継ぐ。私は高江をあきらめない」という強い意志と言葉に、上映会場は涙に包まれた。▼5月15日は、沖繩本土復帰記念日。日本の米軍基地の75%が集中し、復帰後40年以上経ってなお切りひろげられる沖繩の傷。日本の暴走を許さないために私たちに何ができるのか、一人ひとりが考える日にしていきたい。

月2回刊=1412号
2014年5月15日 発行
発行日 毎月15日30日
発行所 盛岡市内丸10番1号 岩手県庁内 岩手県職員労働組合
印刷所 盛岡市上田二丁目17-4 有限会社 ジロー印刷企画 一部 40円
組合員購読料は組合費に含む

賃貸だからカンケーナイ?
火災共済・自然災害共済は家財だけでも加入でき、「再取得価額」で保障されるってご存じでしたか?
自然災害共済に大型タイプが登場!
じちろうの火災共済+自然災害共済
自治労共済本部
詳しくは所属する組合まで

青年婦人部 春の交流会

「活動」紹介し加入を呼びかけ

先輩組 合員から 経験談交え、仕事の「ゴツ」などを助言

青年婦人部は4月26日、盛岡市の県公会堂において「春の交流会」を開催し、

今年度の新採用者を含む21人が参加した。

交流会では、青年婦人部の1年間の活動を紹介しながら、組合が、どのような考え方で、どんな事を取り組んでいるのかを紹介しな

ら、新採用の参加者にも組合加入を呼びかけた。分散会形式で行った先輩組合員との意見交換では、



県職労や青婦部の活動などについて説明を受ける全体交流会



なごやかな雰囲気先輩組合員との意見交換が行われた



現業評議会

議長に遠藤さんを再選

新体制で活動をスタート

選挙を行い、新幹事体制を確立した。5月23日には

新・旧引継ぎ幹事会を行い

ながら、人員確保や賃金改

善などこの間の積み残し課

題解決に全力をあげるこ

と等を確認する。



遠藤 哲美議長

県職労現業評議会は4月24日、2014年度の役員

新幹事体制は次のとおり。
議長 遠藤 哲美(管財課分会)
副議長 中村 政則(管財課分会)
副議長 上野 由克(畜産研究分会)

事務局長 菅原 薫(畜産研究分会)
事務局次長 三浦 誠(管財課分会)
幹事 小田 倫義(管財課分会)
荒屋 康之(畜産研究分会)
藤根 栄(農業大学校分会)
及川 政信(岩手盛岡・支部)
宇部 良典(岩手盛岡・支部)

新専従役員 紹介



県職労は今年度、左の3人が専従役員として、県庁12階の県職労本部で、組合員の生活・職場環境改善に

■副中央執行委員長
小田嶋 智 昭



■書記長
大崎 勝 弘

向け、頑張っています。組織の要となる大崎書記長と、10年ぶりの青婦部専従となる中川青婦部長は4月

「お昼ごはんを先輩におごってもらっているがいつから自分で払った方が良いか」「朝、前を自転車走っている上司をどのタイミングで追い抜けば良いか」な

ど、新人ならではの率直な質問も寄せられ、先輩が自身の経験を話しながら、県で働く仲間として気兼ねなく一緒に仕事をしていくコツ?を助言した。

お酒を交えた懇親会の席では「今年採用されすぐに加入したが、入っていて楽しい。良かった」「組合がどんな活動しているかわかった」との感想も出された。

戦争させない 全国署名
組合員×5筆
家族・知人・友人含めご協力を!!

組合員の声↓ 要求↓ 交渉↓ 実現

深夜帯の災害当番出動時の自己負担解消へ

今年4月から、災害警戒本部の設置に伴い登庁を命ぜられた職員のうち、公共交通機関を利用して通勤している職員が、夜間等にやむを得ず私用車で出動せざるを得ない場合に、交通費を旅行命令により支給でき

ることとなった。これは、ゲリラ豪雨の多発など、近年の気象変化に

より深夜帯の警報発令が増加する中、組合員から寄せられていた自己負担解消を求める声を県職労の要求項目に掲げ、2年越しの取り組みが実ったもの。この運用は、深夜帯の出動だけでなく、台風の縦断などで長時間の待機が必要で、公共交通機関の運行時間帯の登庁であっても、退

庁時刻が深夜帯に及ぶことが見込まれる場合も該当する。自家用車を利用した場合は往復分の車賃(25円/km)が支給されるが、現地経費や高速自動車国道の利用料金は支給対象外。また、これまでどおりやむを得ずタクシー利用となつた場合は、タクシー代の実費を支給する。

ZENROSAI NEWS
5113A187

お手続き忘れてませんか?



☑ 自動車を替えた方、**「30日以内」**に手続きが必要です!



契約対象となる自動車を乗り替えた場合、新車両の取得日の翌日から30日以内に車両変更の手続きをお願いします。

☑ 30日以内に届け出がなく事故を起こされた場合、共済金をお支払いできません。



☎ ご不明な点はまずは所属する組合にお問い合わせください。

マイカー共済

自治労自動車共済

自治労共済本部

全労済 全国労働者共済生活協同組合連合会
全労済は、営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしをめざしています。出資金をお支払いいただけて組合員になれば、各種共済をご利用いただけます。